

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成22年2月4日(2010.2.4)

【公開番号】特開2008-148232(P2008-148232A)
 【公開日】平成20年6月26日(2008.6.26)
 【年通号数】公開・登録公報2008-025
 【出願番号】特願2006-336033(P2006-336033)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/46 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/00 1 0 6 Z

H 0 4 N 1/00 1 0 8 J

B 4 1 J 29/46 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月14日(2009.12.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ドキュメントを構成するオブジェクトと、該オブジェクトに関連する関連情報とを保存する保存手段を備えた画像処理装置であって、

前記ドキュメントをプリント出力する際に、ペーパージャムが発生したかを判定する第1の判定手段と、

該第1の判定手段においてペーパージャムが発生したと判定された場合、該ペーパージャムに関する情報を、該ペーパージャムが発生したドキュメントを構成するオブジェクトの前記関連情報として前記保存手段に保存するように制御する保存制御手段と、

前記保存手段に保存されているオブジェクトを再利用する際、該オブジェクトに関連する前記保存手段に保存されている関連情報に基づいて、ペーパージャムを起こす可能性があるかを判定する第2の判定手段と

を備えたことを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

前記ペーパージャムに関する情報は、ペーパージャム時のジャムの場所、前記ドキュメントにおける前記オブジェクトの印字位置、紙の種類、前記ドキュメントを構成していたその他のオブジェクトの情報、のうちの少なくとも1つであることを特徴とする請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項3】

前記第2の判定手段でペーパージャムを起こす可能性があるとして判定された場合、ユーザに対して警告及び対策を促す画面を表示するように制御する表示制御手段と、

前記ユーザに対策を選択させる選択手段と

を備えたことを特徴とする請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項4】

前記第2の判定手段でペーパージャムを起こす可能性があるとして判定された場合には、予め設定された対策によって自動的に処理する自動処理手段を備えたことを特徴とする請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

前記自動処理手段のための対策を、ユーザに予め設定させる設定手段を備えたことを特徴とする請求項 4 に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記表示制御手段は、ホストコンピュータの画面上、あるいは、コントロールパネル画面上の少なくともいずれかに表示することを特徴とする請求項 3 に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

ドキュメントを構成するオブジェクトと、該オブジェクトに関連する関連情報とを保存する保存手段を備えた画像処理装置における画像処理方法であって、

前記画像処理装置の第 1 判定手段が、前記ドキュメントをプリント出力する際に、ペーパージャムが発生したかを判定する第 1 の判定工程と、

前記第 1 の判定工程においてペーパージャムが発生したと判定された場合、前記画像処理装置の保存制御手段が、該ペーパージャムに関する情報を、該ペーパージャムが発生したドキュメントを構成するオブジェクトの前記関連情報として前記保存手段に保存するように制御する保存制御工程と、

前記画像処理装置の第 2 判定手段が、前記保存手段に保存されているオブジェクトを再利用する際、該オブジェクトに関連する前記保存手段に保存されている関連情報に基づいて、ペーパージャムを起こす可能性があるかを判定する第 2 の判定工程と、

を備えることを特徴とする画像処理方法。

【請求項 8】

ドキュメントを構成するオブジェクトと、該オブジェクトに関連する関連情報とを保存する保存手段を備えた装置のコンピュータを、

前記ドキュメントをプリント出力する際に、ペーパージャムが発生したかを判定する第 1 の判定手段、

前記第 1 の判定手段においてペーパージャムが発生したと判定された場合、該ペーパージャムに関する情報を、該ペーパージャムが発生したドキュメントを構成するオブジェクトの前記関連情報として前記保存手段に保存するように制御する保存制御手段、

前記保存手段に保存されているオブジェクトを再利用する際、該オブジェクトに関連する前記保存手段に保存されている関連情報に基づいて、ペーパージャムを起こす可能性があるかを判定する第 2 の判定手段、

として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明は、このような目的を達成するためになされたもので、本発明の画像処理装置は、ドキュメントを構成するオブジェクトと、該オブジェクトに関連する関連情報とを保存する保存手段を備えた画像処理装置であって、前記ドキュメントをプリント出力する際に、ペーパージャムが発生したかを判定する第 1 の判定手段と、該第 1 の判定手段においてペーパージャムが発生したと判定された場合、該ペーパージャムに関する情報を、該ペーパージャムが発生したドキュメントを構成するオブジェクトの前記関連情報として前記保存手段に保存するように制御する保存制御手段と、前記保存手段に保存されているオブジェクトを再利用する際、該オブジェクトに関連する前記保存手段に保存されている関連情報に基づいて、ペーパージャムを起こす可能性があるかを判定する第 2 の判定手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、本発明の画像処理方法は、ドキュメントを構成するオブジェクトと、該オブジェクトに関連する関連情報とを保存する保存手段を備えた画像処理装置における画像処理方法であって、前記画像処理装置の第1判定手段が、前記ドキュメントをプリント出力する際に、ペーパージャムが発生したかを判定する第1の判定工程と、前記第1の判定工程においてペーパージャムが発生したと判定された場合、前記画像処理装置の保存制御手段が、該ペーパージャムに関する情報を、該ペーパージャムが発生したドキュメントを構成するオブジェクトの前記関連情報として前記保存手段に保存するように制御する保存制御工程と、前記画像処理装置の第2判定手段が、前記保存手段に保存されているオブジェクトを再利用する際、該オブジェクトに関連する前記保存手段に保存されている関連情報に基づいて、ペーパージャムを起こす可能性があるかを判定する第2の判定工程と、を備えることを特徴とする。